

加西ふるさと春ミーティング 2016 質問等一覧

市内10小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「計画と戦略、何が未来を創るのか」と題し、自治会運営を担われているみなさまを中心に参加していただきました。会場でお聴きした提案や意見をお知らせします。

今後の市政に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所	参加者数
泉 小学校区	4月23日(土) 19:30 ~ 21:00 殿原町公民館	42名
タウンミーティングでのご意見		
No	意見概要	回答など
1	加西市の南部にプランが偏っているのではないかと。	南部は鶴野飛行場跡や 372 号線のことなど、動き出し、計画が大きくなってきた。しかし、インター周辺の開発は加西市としても重点施策であり、総合戦略の中にもあります。また、産業団地の開発についても北部に開発の余地があると認識しています。地元も含めて、種々の開発を進める機運が高まり、具体的に動き出すことが推進を図るために必要になります。
2	2025 年問題として、団塊の世代が 80 歳を超えると福祉、農業、地域のつながりの 3 つが大切であり、また課題である。 (1) 北部に老人ホームを作ってほしい (2) 北部の営農組合化が遅れている市の戦術、戦略を。 (3) 高齢化による地域のつながりがなくなるのでは。	(1) 介護保険は 3 年間の事業計画であり、29 床の地域密着型のホームを建設するかどうか検討しています。3 年間でどれくらいの需要があるかがポイントになり、整備ができるのは、市街化区域に限られている状況です。 (2) 加西市は農業で存在感を出す必要があると考えます。地域では営農組合が重要であり、泉地域は営農組合の組織化が遅れているが、市としては地域に見合った支援をしていきます。 (3) 高齢化が、地域のつながりの希薄化に直結するとは思いませんが、今後、地域の共通課題について、ふるさと創造会議として町を越えて、地域と一体となって解決していただきたいと思っております。

加西ふるさと春ミーティング 2016 質問等一覧

3	<p>平成 23 年第 5 次総合計画の中で、土地利用の基本方針として、この在田地区はルールを定めて開発するエリアとなっていた。</p> <p>しかし、インター周辺の開発は 5 年が過ぎてもほとんど変わらない状況であるがどう考えるのか。</p>	<p>市がイニシアティブ(主導)をとって実施すると、住民の方の思いが反映・伝達されにくくなるかと考えています。</p> <p>区長会の皆さんと協議して、インター周辺の開発については進めたいと考えています。</p> <p>また、ほ場整備事業の除外地を集約するだけでは、希望する面積を確保は難しいので、20ha以内で計画できる「都市計画法の地区計画」において、地域にあった形で計画して行きたいと考えます。</p>
4	<p>ふるさと創造会議は 5 年間交付金が出るが、5 年後はどうなるのか。</p>	<p>5 年後は、人口や面積など地域に応じて、今の取組み範囲をより大きなものにし、道路の課題等に取り組んでいただきたい。</p> <p>現在の年間 120 万円の交付は組織を作るためであり、次のステージは事業を実施していただきたいと考えます。</p>
5	<p>インターから出た道路が狭い。</p>	<p>(担当より)</p> <p>加西市インターチェンジに接続する県道多可北条線について、車道は規格通りの幅員で整備されていますので、現時点では、再整備の計画はありません。</p>
6	<p>総合体育館のトーンが低くなっているが、建設地は北部にしてほしい。</p>	<p>地域創生戦略のアクションプランにも示している。任期中に具体化させたい。</p>
7	<p>獣害対策を進めてほしい。三田市には対策隊があり(HI 28.4.7 神戸新聞 三田市版掲載)参考にしてほしい。</p>	<p>対策隊については調査して検討します。</p> <p>(担当より)</p> <p>三田市では捕獲活動への公共意識を高め、不正防止につなげる目的で制度を導入したと聞いております。加西市としては、猟友会と協力しながら、対策を進めているところです。</p>